

平成 28 年度 第 1 回たつの市行財政改革推進委員会会議要録

日 時：平成 28 年 7 月 13 日（水） 午前 10 時～

場 所：市役所 301 会議室

出席者：委員 12 名（欠席者なし）、事務局

1 会議内容

- （1）委嘱状の交付
- （2）市長あいさつ
- （3）会長及び副会長の互選について
- （4）議事 まちづくり改革プラン実施計画の取組状況について
- （5）その他
 - ・行政改革に係る年間事業計画について

2 議事要旨

- （1）まちづくり改革プラン実施計画の取組状況について

まちづくり改革プラン実施計画における改革の重点目標の達成状況、本市財政状況及び平成 27 年度の実施計画の取組結果について事務局から説明し、意見交換を実施。

主な意見等の要旨は次のとおり。

（委 員） 徴収率について、取組強化で徐々に向上しているとのことだが、県内順位も例年低迷している。滞納者は固定化しているのか。また現状課題の分析はしているのか。

（事務局） 滞納者の固定化は、そのとおりです。徴収率の低迷は、不納欠損に起因しているところもあり、失効停止や分納誓約によって債権保持していることも多く、不納欠損ができていないケースもある。また、市税だけでなく、水道料金や他の公共料金を滞納する人は一緒であり、動産・不動産の差押えや公売にも積極的に取り組み、警察OBの徴収員を配置し、横断的で一体となった徴収体制で、徴収率の県下で低位の汚名返上を目指している。

（委 員） 水道事業所の一本化に取り組むのも行革ではないか。

（事務局） 広域水道は、水源開発などからも将来的な検討課題であるのは確かである。

（委 員） 平成 26 年度決算で地方債残高が 371 億円となっているが、将来的な財政見通しはどう考えているのか。

（事務局） たつの市の将来負担比率からみると健全であると云えます。

（委 員） 職員数について、人件費の抑制効果についての説明をもらいたい。人件費抑

制は、やりすぎると職員の士気低下につながってしまう。市民からは職員数を減らし過ぎで、いろんなところでサービスの低下してしまうのではないかと危惧されている。また、研修等で職員のスキルアップでカバーも必要と思う。

(事務局) たつの市は、人件費や物件費は類似団体トップクラスで抑制されている。今後の行革の方向性は、人口減に似合ったインフラ保全、公共施設保持になってくる。学校の統廃合も意見を聞きながら取り組んでいくことが必要である。

(委員) 全戸への配布物が多い。関連団体のイベントは全戸配布する必要があるのか。回覧でも十分ではないか。また、サイズも統一性がないし、地域的に関連性が薄いイベントも全戸配布されているので、もっと市の指導が必要ではないか。結果的に印刷費の抑制で補助金見直しにもつながるのではないか。

(事務局) 同様のことは、従前から連合自治会からもお叱りを受けている。配布物については、総務課で審査した上で配布している。広報のあり方も、いろいろ検討し、広報とお知らせ版で右綴じ・左綴じの統一をしたりして改善を図っている。

(委員) 関連団体が70～80あり、配布物の取捨選択においても難しい。ボランティア的に活動している団体が、自分たちの活動を広く知ってもらいたいという意見もある。

(事務局) 実際には市以外の配布物もある。意見を担当部署へもフィードバックし、必要性も含めて全戸配布、回覧の棲み分けを促したい。

(委員) 行政改革大綱や実施計画が平成28年度までとなっているが、今後はどうなるのか。

(事務局) 第2次たつの市総合計画を現在策定中であるが、その基本計画の中に大綱を位置づけて一体的に運用を図っていこうと考えている。まちづくりの指標という形で取り組み目標が設定されていく予定で、行革の取り組みもそれらを基に検討していきたいと考えています。

(委員) 人事評価の中に部下が上司を評価するとあるが、組織運営上問題はないのか。

(事務局) 評価の多面性として取り組んでおり、異動先も限られた市組織の中で、心身の問題や内面的に隠れている問題掌握の意味合いもある。人事の部分で内部的に使用しているもので、処遇面に反映しているものではない。そういった点からも問題ないものとする。

(2) その他

行政改革に係る年間事業計画及び次期改革プランについて事務局から説明

(特に意見なし)